

(様式2(1))

事業所名 グループホーム村いちばんの元気者

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 9 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-1-(1)	(理念の共有と実践) 理念を共有しているが、業務の中で意識出来ていない。	グループホームの理念を日常の具体的な実践の中に活かす。	(1)ユニット会議で理念を唱和する。 (2)理念をテーマに全員で検証する。	(1)1か月 (2)5ヶ月
2	IV-(36)-(18)	(ひとり一人の尊重とプライバシーの確保) 丁寧さを欠く言葉づかいをしていることがある。	言葉づかいの改善を徹底する。	あったかサポートの重点項目に「尊敬の念をもった言葉づかい」を掲げ、毎月、自己点検する。	3ヶ月
3	III-26-(13)	(チームで作る介護計画とモニタリング) 計画に沿った記録が少ないなど、モニタリングが不十分である。	常にケアプランを意識した支援を実践する。	(1)ユニット会議でプランの検証をする。 (2)記録については、ケアマネが個別に指導する。	(1)1ヶ月 (2)6か月
4	III-33-(16)	(終末期の指針の共有) ターミナルケアの知識・技術が不足している。	ターミナルケアについて研修を実施する。	重度化指針、ターミナルケアについて研修を実施する。	H22年度中
5	III-35-(17)	(災害対策) 地域と連携をとる必要がある。	地域の消防団との連携を検討する。	合同で防災訓練を計画実施する。	未定

※2の言葉づかいについては、6月の自己評価段階では課題としてあがっていませんでしたが、その後チームとして課題であると認識し、改善に向けた取り組みを実施しています。